

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
第4回災害対策研修会が開催されました。
神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

去る平成27年9月27日(月)横浜ワールドポーターズにおきまして
「災害対策委員会第4回災害対策研修会」が開催されました。

東日本大震災から4年半が経ちました。その後も相次いで発生している自然災害に対して、災害時におけるリハビリテーションの役割を検討し整備することが急務とされています。

今回は、その第4弾として「災害時の避難所における医療支援体制とリハビリテーションについて」をテーマに「避難所における生活環境支援」をキーワードに行政とリハビリテーション関連職との連携について検討することを目的として研修会を開催しました。

講師には横浜市役所より岸本弘之氏(横浜市総務局 危機管理課 事業推進担当課長)と、段ボールベッドの開発者でもある水谷嘉浩氏(株式会社 Jパックス 代表取締役)をお招きして、横浜市の災害医療支援体制における地域防災拠点の位置づけから避難所の設営方法や運営について、段ボールベッドを導入した避難所生活支援の取り組み(ストップ・ザ・雑魚寝プロジェクト)や、今年9月に発生した関東豪雨水害の際に、茨城県の避難所に段ボールベッドを導入された経験も踏まえてお話しいただきました。

今回の講義では段ボールベッドを展示し、後半は実技としてご参加いただいた方々に段ボールベッドを展開していただき、見て触れて寝てみるといった体験型の研修としました。段ボールベッドを実際に初めて目にする方も多く、大変学びの多い機会となりました。

講師の先生からは、自分の居住する地域や職場の近隣地域にある防災資源を把握して医療職に限らず自助能力を高めて欲しい(岸谷氏)、事前に応援協定を締結していないと必要な生活環境支援品の提供が遅れてしまう、避難所生活にて避難者の動きにくさを改善する段ボールベッドをぜひ活用して欲しい、また中長期的な視点から生活期における避難所生活環境を整備する上でも早期に段ボールベッドを導入する流れを確立させたい(水谷氏)と強く訴えられていました。

今回も多くの方々にご参加いただきありがとうございました。次回も実技型・体験型の研修会を検討しています。11月15日(日)には川崎北部災害対策キャラバン、平成27年2月28日(日)には県西部災害対策キャラバンを開催予定です。各地域にてさらに具体的な災害対策・防災施策を実行していきたいと思っております。より多くの方々のご参加をお待ちしております。

